

地球温暖化 の おはなし



1. 地球温暖化と地球の現状

太陽の光は地球の表面を温めています。温められた地表から出る熱は、二酸化炭素やメタンなどの温室効果ガスが吸収し大気を暖めています。これを温室効果と呼び、温室効果ガスがなくなると地球の平均気温は -19°C くらいになるといわれています。温室効果ガスの効果によって平均気温が 14°C くらいになっています。

しかし近年、産業活動が活発になり温室効果ガスが大量に排出されるようになりました。大気中の温室効果ガスの量が多くなり、熱の吸収量が増えたことで地球の温度がだんだん上がっています。この状態を地球温暖化といいます。

そして地球温暖化が進むと次のような影響が出てきます。



こうした気候の変化は、今後さらに大きくなる恐れがあります。

2. 温室効果ガスの排出状況

2020年に日本で排出された温室効果ガスの排出量は、約11億5000万トンとなっています。

そのうち、CO₂の排出量は約10億4400万トンです。

また、2020年の碧南市のCO₂の排出量は約873千トンとなっていて、産業部門の排出量が約599千トンと1番大きな割合となっています。



3. 温暖化の原因

大気中の温室効果ガスの量が増えると、地球温暖化が進んでしまいます。また、温室効果ガスのうち、約92%は二酸化炭素です。

18世紀後半以降、使用するエネルギーが、木材から石炭や石油へ変化し、生活が便利になっていくに伴い、大気中の二酸化炭素の量は急速に増え始めました。

もともと炭素は地球上を循環していますが、石炭や石油などの化石燃料を燃やすようになってから、長い年月をかけて蓄積された化石燃料が短期間で消費され、そのバランスが崩れているのです。



そのため、温室効果ガスの排出量の削減やクリーンなエネルギーへの模索が各国で進められています。



4. 脱炭素社会に向けて

石炭や石油などの化石燃料は、生活を便利にしてくれますが、二酸化炭素の排出量を増やしています。

これからも便利で快適な生活を維持・発展できるようにするためには、二酸化炭素の排出量と吸収量を同じにし、大気中の温室効果ガスのバランスをとることが大切です。このように地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出量が実質ゼロになることを「カーボンニュートラル」といい、それを目指す社会を「脱炭素社会」といいます。

カーボンニュートラルを実現するために、碧南市では令和5年2月にゼロカーボンシティ宣言を表明し、目標の達成に向けて様々な事業に取り組んでいます。



5. わたしたちにできること

カーボンニュートラルを実現するためには、ひとりひとりが電気やガス等のエネルギーの使用量削減に取り組むことが大切です。すぐに取り組むことができる省エネ行動もあるので、無理のない範囲で取り組んでみてください。

便座のふたを閉める



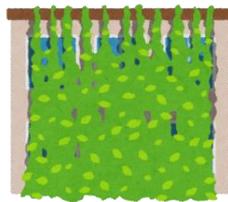
年間CO2削減量
約 **14**kg

エアコンのフィルターをこまめに掃除



年間CO2削減量
約 **12**kg

緑のカーテンを育てる



年間CO2削減量
約 **9**kg

宅配便はできるだけ1回で



年間CO2削減量
約 **10**kg

出典：「あいち地球温暖化防止戦略2030」(愛知県環境局)

エアコンや冷蔵庫などの家電製品は、技術の進歩によって性能がアップし、消費電力も改善されています。お使いの家電製品を最新のものに替えたり、照明をLEDにすることもCO2排出量の削減に有効です。

